

# 生ごみを有効肥料に



私たちが知らないうちに、地球の環境を少しずつ壊していることにお気づきですか？

私たちが一人ひとりが、身近なところから、少し気を配ることで、私たちの大切な自然を守る事ができるのではないのでしょうか。

そこで、家庭から出る「生ごみのリサイクル」について考えてみたいと思います。

## 生ごみの有効利用

かつて生ごみは庭や畑などに埋められ、土に還されることよって、作物に必要な肥料として再利用されてきました。しかし最近、その大部分が燃えるごみとして排出されており、それらの処理に多くの経費がかかっています。

今回紹介する生ごみのリサイクルとは、家庭から毎日出される生ごみをEM（有効微生物群）ボカシを使って発酵させ、有効肥料としてプラントや家庭菜園、庭などで使用しようというものです。

ごみの減量化に役立つだけでなく、自然環境にも優しいEMボカシとは

どんなものなのでしょうか？

## EMボカシとは

EMとは、有効微生物群の略で、80種以上の有効微生物を共生させた複合培養液。微生物の働きで有機物を発酵分解させることができます。

ボカシとは、EMを使いやすいように、米ぬかやもみ殻、糖蜜などで発酵・乾燥させたものです。このボカシを生ごみにふりかけることによって、短時間で生ごみを発酵させ肥料に変えることができます。

なお、処理作業は台所の片隅に専用の容器（15ℓほどのバケツ程度）を置いて行うことができます。密封の容器を使うため、特にいやなお

いもありません。たいして費用もかからず、気軽に実践できる生ごみのリサイクルです。

## EMボカシを利用した

### 生ごみ処理の効果

① EMボカシを使用し続けることにより、土壌をやわらげ豊かにし、植物の育成に役立ちます。

② 有害微生物の増殖を抑えることができ、病害虫の発生と連作障害を軽減させることができます。

③ 汚染物質を分解することにより、下水や河川などの水質浄化に役立ちます。

④ ごみの減量化に役立ちます。ごみ処理の経費の節減になります。

平成6年度にはEMボカシが3千610袋利用され、生ごみが堆肥化され、その量は推測100ト以上にもなります。

## 現在、蒲田市では

蒲田市では「ごみを考える会」の皆さんの手で、ボカシの製造から販売までを行っていただいています。現在、会員約560人が生ごみを有効肥料に変え、野菜作りなどを楽しんでいます。ごみの減量化に協力いただいています。

ボカシは、300g入り一袋・100円で販売しています。